



湧雲

第5号
2013年8月25日発行

発行・北海道深川西高等学校同窓会
〒074-0012 北海道深川市西町7番31号
TEL 0164-23-2263 FAX 0164-23-2264

同窓生数
16,424名

デザイン・印刷・SALAT (株)サラト
〒670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町172
Tel:079-284-1380 <http://www.salat.co.jp>

第三回の

卒業記念植樹

開催される

快晴の中で

10月6、7、8は勤務によって三連休。連休中は快晴が続く。最終日の8日植樹当日の朝の濃霧は雲海を想像させるのに充分なものだった。陽が登るにつれ真っ青な空は秋の好天を石狩平野一面に広げていた。好天は参加者の気持を高める。11時15分定刻に学校を出発。ハニーヒルで昼食と事前説明。参加生徒は全員男子でこれまた明るい性格が勢ぞろい。昼食会場は和やかな会となった。ごはんのおかわりも数度満たされたお腹をバスにゆだねて、いざ！会場へ。

薄っすらと紅葉の気配が漂う中、山道は右に左に折れ曲がり高度を稼いでゆく。高度が上がるにつれ周りの景色は気持の良い俯瞰状態。揺られてしばし、会場には準備万端の委員が5名。

早速、ヘルメットを着用後岡部委員長から説明を受けて、準備してあるナナカマドを植樹する。最近の子供はスコップの使い方を知る環境にはないのだろう。ぎこちなさがほほえましい。それでもそれらしくナナカマド

委員会：

岡部・竹林・堀川・
藤井・溝口

学校：

生徒8人・教頭、
事務長、教諭
記録：中村義勝



屹立する白樺



植樹風景



第65回卒業記念植樹集合写真



生徒達の後ろに校舎が見える

宮脇記念桜報告

花数が増えた八重桜

遅い春は里でもやっと5月17日に桜が開花したが、その後、気温の上昇と共に一気に開花の波状攻撃で散るのも早かった。例年なら八重の桜が咲く頃なのだが季節の移ろいは気まぐれだった。そんなわけで、鉦路八重も29日の開花となつて、しかも今年は3本とも沢山の花をつけてくれた。青空に映えて咲く八重のピンクの花達は通りに面して植えられていて通行の人の目を惹きつけてくれたし、なによりも生徒の通路に桜の風情を漂わせてくれた。1年1年樹は大きくなって風格を漂わせるまでに育って行くだろう。管理を怠らず気配りを続けたい。

気候により変動しますが、毎年20日過ぎには咲き始めると思われます。一度訪問してみてください。



八重桜は数を増して



卒業記念植樹・
ナナカマドの花

桜花爛漫

又もやられた桜の園

昨年、ウサギにやられたことで、秋に10本の成木を補植してネットで防御した記念植樹の桜は、近年にない積雪で予想された高さを越えていた。ネットを2段にして防いだもののその上を越えてしまった。優に2m20cmはあるだろうか。春、ウサギが活動しやすい固雪状態でこれだけの積雪がある事を予想していなかっただけに春作業で無残な姿を見たときは啞然としてしまった。

それでも桜の木は残された枝から健気にも花姿を見せてくれた。あつと言う間の開花で終了してしまったが、維持管理にさらなる改良を加えて危機を乗り切ることに、委員一同、秋のネット巻きに新たな決意を誓ったのだ。



苦難の中に花は咲く



積雪面でウサギの食害



防除作業



作業風景

校庭の樹木管理状況

白樺の更新を行う

花粉アレルギー対策、無花粉の白樺

5月11日午後1時に校庭に集合

校庭の樹木も開校時に植栽されたものもかなりあり、年月を感じさせるものが多いのですが、開校時の写真を見る限りでは白樺もその当時のものと推察されます。ここ数年の打音検査では樹芯に異常の判定のできるものは伐採処置を施しました。現在残っている白樺はまだ数年は大丈夫のようですが、いずれ更新しなければいけないことから、計画通り補植を行うことにいたしました。白樺は校歌の中にも歌いこまれていたことから将来を見据えて更新するものです。

近年、花粉アレルギーなどに反応する人が多くなってきたことから最近開発された無花粉シラカンバを調達することにいたしました。この苗は組織培養されたシラカンバ（白樺）の苗木です。木肌はシラカンバですが花粉アレルギーの原因を発生しません。美唄林産試験場と幕別の

大阪林業の共同開発品です。この苗木を5本調達いたしました。

好天のもと作業開始。ユリノキ、鉋路八重の囲いを撤去。雪で倒壊したオンコを伐採、昨年植えてくれたモクレンも枯死のため伐採。跡地に桜とシユウリザクラを植えることにする。無花粉のシラカンバを全員で植樹し、添え木を添えて全員で記念撮影をして作業終了。

後日13日、オンコの撤去跡にシユウリザクラを、モクレンの撤去跡にエゾヤマザクラを植樹した。

(岡部、堀川、三上)

大型の蟻のコロニーが2か所

校庭の松と樺の木の間をクロオオアリが2か所巣を作っていておびただしい数が隙間のないほどの行列を作って樹と樹との間を行き来している。大きな被害があるわけではないが緑の芝生に一筋の道がついている。山や郊外とは違うので駆除することにした。それにしてもすごい数だった。



植樹風景



エゾヤマザクラ



無花粉白樺



集合写真

同窓会総会開催報告

第七十回の総会が、五月十四日「プラザホテル板倉」にて山下校長、新任の松本教頭と菅野事務長ご臨席の中、同窓生五十余名が出席して開催された。会長挨拶の後、校長より昨年の学校の状況、生徒の状況の説明を交えてご挨拶をいただく。

引き続き堀川勝之さんが議長となり議事進行し、次の議案が審議されました。

- 一、平成二十四年度事業報告及会計報告
- 二、監査報告
- 三、平成二十五年度事業計画及予算案
- 四、役員改選
- 五、その他

二十四年度に關して事業報告通り承認された。事業報告、特別委員会報告は会報別記掲載。今年度の事業計画の審議についても承認された。今年度も同窓の夕べを開催予定の承認を得、実行委員会は末尾「六期」で構成致します。

同窓会会報五号の発行は卒業生と四年毎の期に送付することに致しました。四年に一回は定期にご協力をいただいている方以外にも送付される形に改めました。この方式で送料の負担の軽減を図ります。

役員改選については別欄を参照されたい。

その他で意見がでたのは「会報の収支決算がわからない」次回の総会には添付することで了承を得る。

「サラトから二回も名簿購入の案内が来たがどうしてなのか」
(一)一回目に送付したのは「調査カ

平成24年度 決算報告

収入の部

項目	金額	備考
前期繰越金	12,847	
入会金	234,000	156×1,500円
振替金	50,000	
雑収入	400,090	会報協力金等
合計	696,937	

支出の部

総会費	107,467	
役員会費	23,310	
会議費	49,665	
交際費	31,000	全国大会、歓迎迎会
事業費	449,509	会報等
通信費	5,000	
印刷費	10,985	
事務費	0	
雑費	5,250	
次期繰越金	14,751	
合計	696,937	

いる全国の学校で、現方法で名簿発行作業を進めていますので直ぐに改善はできませんが、いただいたご意見を踏まえて今後の作業の改善を進めて参りたいとの返答をいただきました。

「会報を送付したときの協力金は同窓会費なのか会報発行費なのか解り難い」

会報の発行の協力の協力金なのでその旨を第五号からものと判り易い表記にします。

平成24年度事業報告

1、会議・行事に関する事項

- 〔平成24年(2012)〕
- 4月9日・平成24年度(第67回)入学式 入学生144名
 - 4月13日・転入教職員歓迎会 転入者9名
 - 5月10日・役員会
 - 5月17日・第69回定時総会 参加者56名
 - 8月25日・同窓会会報第四号発行

10月8日・第3回の卒業記念植樹挙行(第65回生「ナナカマド」)

【同窓の集い】

7月26日・第1回同窓の集い打ち合わせ

8月30日・最終打ち合わせ券集約等

9月8日・同窓の集い 会場・プラザホテル板倉

〔平成25年(2013年)〕

2月24日・北斗会第50回総会・滝川 参加者13名

2月28日・同窓会入会式 入会者156名

3月1日・第65回卒業式 卒業生156名

3月22日・転出・退職教職員送別会 転出及び退職者5名

【参考】

5月1日・会計監査

5月7日・役員会

2、会報の編集

本号・8月20日第四号

3、母校の後援に関する事業

①10年計画による前庭の植栽の点検(5年目)

②各部で活躍する在校生への支援(バドミントン・陸上)

③10月8日・卒業予定者8名による記念植樹「ナナカマド」

④プレス幕の貸与

⑤会旗、部旗、健闘幕作成貸与

4、会員相互の親睦、交流に関する事業

①同窓の集い(上記報告)

②各支部現況報告(同窓会会報にて報告)

③各期の動き(同窓会会報にて報告、別添資料)

- 5、同窓会林に関する事業
- 8ページに掲載
- 6、その他、本会の目的達成のため必要な事業
- ①〈今年収集した資料〉
- 学校より・関係諸行事発行資料
- 深川高校新聞第一号(創刊号)
- ②CDの在庫確認
- ③HPの開設中
- http://mypage.fukanavi.com/nishikou/
- ④写真パネル：現有 90枚余所蔵
- ⑤深川の紹介サイト「深ナビ」に登録継続
- ⑥名簿の発行9月発行
- ⑦開校60周年記念
- テレホンカード在庫：147枚
- 平成25年度事業計画
- 自・平成25年4月1日
- 至・平成26年3月31日
- 1、会議・行事に関する事項
- 例年通り実施
- 2、会報の発行・名簿の作成事業
- ①第五号の発行予定
- ②会員名簿の発行 9月
- 3、母校の後援に関する事業
- その都度、必要に応じて対応
- 第4回卒業記念植樹の開催
- 10月7・8日を予定
- 4、会員相互の親睦、交流に関する事業
- ①同窓の集い実施
- ②各支部との連携の強化 特に札幌写真パネルの貸与・会報の送付・プレス幕、闘魂旗、闘魂幕の貸与、その他
- ③各期の動向把握の強化
- 各期の幹事の確認作業推進
- ④HPの更新作業、深ナビへの情報更新
- ⑤その他
- 5、同窓会林に関する事業
- 8ページに掲載
- 6、その他、本会の目的達成のため必要な事業
- ①資料収集(継続事業)
- ②卒業記念CDの管理(継続事業)

各期動向報告

(カッコ内は情報提供者・敬称略)

〈旧中一期〉

八十七歳からの年齢になり、連絡が取れない状況です。自然消滅。

(注・同窓会名簿のトップの赤川大先輩は足が弱っていますがそれでもなんとか歩いておられます。)

〈旧中二期〉 (旧制深中2期会)

平成十四年を最後に同期全員の開催を取りやめとし以後二三年ごとに有志で開催していましたが、さらに老齢になり、会の集まりも不自由になりしばらく開催もなし。自分も入院していて身動きが取れません。勇退です。

(横山 猛)

〈旧中三期〉 (旧制深中3期同期会)

毎年開催。十七年には記念誌を制作。十九、二十、二十一、二十二も九月札幌にて開催。危ぶまれた二十三年、二十四年も十月に開催。今年は未定だが、多分、開催すると思う。

(三浦巧丸)

〈旧中四期〉 (旧制深中4期生)

平成十五年と二十年中島武敏元代議士を囲んでふれあい会館集まる。全体の集まりは高齢の為開催していません。

(前田正太郎)

〈旧中五期〉 (旧制深中第5期会)

毎年開催。十五年鎌倉。十六年函館。十七年札幌。十八年美唄。十九年六月深川。十月台湾へ修学旅行。二十年には開校七十周年記念に合わせて式典終了後開催。二十一年以降は津田氏が亡くなったため幹事の確認とれず。

〈一期〉

平成六年岩見沢市、七年滝川市、八年幌新温泉一泊、九年箱根・東京二泊、十年深川市、十一年定山溪温泉、十二年滝川、十三年岩見沢。十四年深川、十五年札幌、十六年滝川、十七年札幌開催

〈七期〉 (深西7期同期会)

三年毎に旭川、深川、札幌と持ち回りで開催している。十四年深川で開催、板倉に六十人参加。十七年は五十年を札幌にて八月開催、五十人参加。二十年旭川。二十三年九月五日深川開催。一年遅れですが別欄詳細掲載。

(手島 克)

〈八期〉

不定期開催。二十年六月札幌第一ホテルで開催。高齢となり最後の同期会と言うことで六十五名参加。それ以後は各クラスやグループで少人数で開催。二十一年八月深川在住者。九月には札幌で開催した。

(大井信之)

〈九期〉

十年深川・十二年旭川・十四年札幌・十六年北竜。十八年東京。毎年開催の意向を受けて十九年秋に定山溪、小樽。十九年三月深川在住者で開催。二十年九月深川開催・「ゆう&ゆ」に四十七名。二十三年九月四日 沼田ほろしん温泉にて全体の同期会を開催しました。二十四年五月八日、東京方面でミニ同期会。五月九日市内在住者のミニ同期会。パーゴルフの会を開催。秋には東京で全体の同期会を開催。本年は七月十日旭川が当番で開催次号詳細掲載予定。

(倉嶋克郎)

〈十期〉

五年に一回の開催
十五年六月に四十五周年記念として北広島で開催。二十三年十月二十日定山溪温泉にて五十八名の参加で旧交を温めました。

(星野友雄)

〈十一期〉

十二年八月還暦記念を深川で開催、十六年は八月札幌七十名。十八年十月深川で開催。二十年札幌。毎年、今年こそとの開催予定がお流れとなり先の見通しが立っていません。

(山森世津子)

〈十二期〉 (西高35年卒同期会)

十三年秋、還暦同期会を開催、参加五十八名。十八年小樽にて開催。二十二年六月深川にて開催。

(板倉克宏)

〈十三期〉 (二六会・サボロウ会)

十年H.P開設 M.L(倉山昭男)

〈二十期〉 (深川西高第20期同期会)

四年に一回の夏期五輪開催年に合わせて開催しています。十二年六十名参加(深川ホテル)十六年は八月に開催した。二十年八月深川で開催。東京組は二年毎に開催。

二十四年八月四日、深川板倉にて開催、五十九名出席。道内在住者の有志で親睦ゴルフを毎年盛会の中に開催しています。詳細別欄掲載。

(小川広見)

〈二二期〉

十四年八月。十八年八月開催。二十三年八月十三日深川にて開催。

(梶川 寛)

〈二三期〉

十二年卒後三十年で開催。参加六十名(日の出)。二十年八月札幌開催。

(寺岡義人)

〈二三期〉

十三年八月に三十年を記念して札幌にて開催。出席者八十余名。

(齋田光章)

〈二四期〉

十四年札幌、十六年六月深川(日の出)にて開催三十五名。十七年六月札幌にて連続開催。二十年六月「まあぶ」にて開催。

(江崎 稔)

〈二五期〉

十四年十一月に札幌にて開催 七十名参加。

(佐藤賢治)

〈二六期〉 (49年卒業同期会)

十六年は卒業三十年で九月札幌にて開催、百名参加。

(小林健二)

〈二七期〉

十六年二月二日開催し七十四名参加。今年開催の予定。

(中川博行)

〈二八期〉 (第28期同期会)

三回目となる同期会を十七年八月板倉にて開催。百名を超える参加あり。五年ごとに開催。第四回目の同期会を二十二年八月札幌にて開催。

(増永博志)

支部報告

旭川支部 総会報告

《参考》

第一回 昭和五十三年 一八〇名
第二回 五十五年 一二二名
第三回 六十二年 一一六名
第四回 平成十三年 一二〇名
この後開催がありません。

小樽支部

支部長・秋山会長死去につき後任会長は未確認。

東京支部 総会開催

第十七回総会は十九年九月二十九日開催。当番期は四十九年(26)・五十年(27)卒業期が担当しました。参加者は七十一名。

第十八回総会は二年半ぶりの開催でした。二十二年度六月十九日に開催。当番期は五十一年(28)・五十二年(29)卒業期となっていました。が幹事が構成できず今回も五十年(27)が担当しました。参加会員六十五名。

第十九回開催年となっていますが開催していません。若い世代への橋渡しが重要な課題です。(中村欣也)

滝川支部 【北斗会】

平成二十五年二月二十四日・三浦華園にて、第五十回記念総会を開催。会長 境 和一

を最後に取りやめ。(中村隆志)

〈二期〉(旧制中学7期・深川西高2期の集い)

毎年秋に開催。東京、札幌、深川持ち回り。十二年は卒業五十年で札幌、十三年はホテル館、十四年は東京、十五年は札幌、十六年は深川、二十年「喜寿の集い」をもって期友の会を打ち上げしました。その後、関東、関西、北海道域から同志が集まり一泊どまりで温泉旅行を開催二十名参加。今では百八十名居た同期生も百四十名位が出席不可能な状態です。全員二十三年の誕生日で八十歳。最終サバイバルにさしかかりました。(林 正衛)

〈三期〉

東京は毎年開催。札幌は随時開催。深川は三名ですが元気なし。平成十二年を最後に開催していない。(島田克之)

〈四期〉(深川西校第4期生同期会)

札幌が中心になって毎年開催しています。十六年札幌は六月、東京・四葉会は一月に開催。十七年は六月札幌、十八年札幌開催。十九年五月定山溪で、卒業五十五年で偶然にも五十五名が参加。二十年六月札幌。二十二年六月「喜寿を祝う同期会」を開催。同期生全員に案内するのはこれが最終回でしたが二十三年六月二十日開催。二十四年も六月に開催いたしました。別欄詳細掲載(佐藤範子)

〈五期〉

不定期開催。

〈六期〉(西高29会)

深川組は十四名。毎年旅行を実施してきたが最近昼食会やパークゴルフを行っています。札幌勢は年に六回集まり、東京勢は年一回集まる。全体での開催は十七年札幌が最後。深川支部は二十九会なので毎年六月二十九日に開催している。

二十二年は都合により二十九日開催ができず十九日の開催となりましたが二三、二十四年は二十九日に開催できました。今年は二か月に一回の会報を発行しています。二十二年五月には札幌支部の総会も開催され深川からも数名参加しました。別欄にて会報詳細掲載。(高谷護郎)

<http://www2.big.or.jp/~yycub/>
<http://www.egroups.co.jp/group/36KA1>

十四年六月還暦記念同期会を開催、板倉。二十年開催。二十二年六月秩父別温泉「ゆう&ゆ」で開催。(吉川 保)

〈十四期〉

十六年五月還暦同期会を開催。深川ホテル二十年二月天人峡パークホテル。二十一年九月十三日深川にて開催。同期生七十六人、恩師三名。二十四年九月十三日札幌支部による発起人で開催。詳細別欄掲載。(堀川勝之)

〈十五期〉(深西38会)

以前は五年毎に開催していたが間隔が狭まった。十年は十一月、十五年は札幌で開催。十七年十月九日開催。十九年九月旭川開催。二十一年十月定山溪グランドホテルで開催。六十三名が出席。二十六年に開催予定。(杉山 一成)

〈十六期〉(深川西高16期卒業同期会)

五年毎に開催。十一年から三年毎の開催にしました。二十年九月開催。二十三年十月十日板倉にて開催しました。次回は二十六年六月二十二日に卒業五十年で開催いたします。(星野 孟)

〈十七期〉(高17期同期会)

十二年に板倉、十七年八月板倉で開催。四年に一回。(濱田靖夫)

〈十八期〉(猪子会・いのね会)

十七年九月札幌にて開催六十名。二十年十月富士屋にて開催六十名。東京組は毎年開催で二十年は九月。札幌組は随時集合。深川組は毎年夏冬と開催している。

二十三年十月十六日 札幌にて開催。(深沢倬子)

〈十九期〉(深川西高19期卒業同期会)

五年に一回の開催。十七年旭岳のふもと湧別温泉で開催。登山も兼ねた。二十年は「ゆう&ゆ」で還暦同期会を十月開催。今年は開催予定。(千葉憲二)

〈三二期〉

卒業二十年を十一年に深川で開催。百十名。卒業三十年を記念して二十一年に出席者八十名で開催。二十六年に開催予定。(宮沢孝司)

〈三三期〉

二十四年一月二日、板倉にて二十八年ぶりに八十五名の参加者を得て開催しました。(三上貴康)

〈三四期〉

二十三年八月十三日、板倉にて開催。

〈三五期〉

卒業二十年を十四年に深川で開催。

〈三六期〉

卒業二十年を十年に深川で開催。(田中一幸)

〈三七期〉

卒業二十年で十六年一月板倉にて開催、九十九名参加。

卒業二十五年を二十一年一月に開催。二十三年十月一日に第三回同期会を開催を致しました。深川西高校(第三十六期生) 掲示板を開設中です。(渡辺哲男)

十四年に板倉にて開催。

〈三九期〉

十三年二月、日の出会館で開催参加、四十四名。

〈四〇期〉

二十一年一月二日に開催。二十五年七月十三日に開催予定。(佐藤之彦)

〈四四期〉

二十三年一月開催。

〈四六期〉

二十三年四月に第一回を板倉にて開催。当初五十名以上の参加申込が東日本大震災の被災地支

副会長 岩田兼一・熊本智暉
幹事長 沼田達雄
幹事長代行 下道敏之

秩父別支部

支部長 早川正剛
事務局 尾垣義次

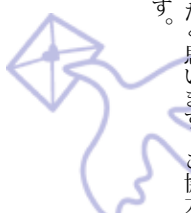
援の関係から消防、自衛隊など関連に勤務しているメンバーが参加できなくなり四十名余の参加となった。(佐藤自恵)

〈五四期〉

二十三年六月十三日、ブランチニュージュに五十人が集合。(及川賢一)

ご協力戴いた期の幹事の方や世話人の方には大変お世話になっています。

例年通りですが、記載の情報はこの十五年間の積み重ねです。前年までの情報に新たな情報を追加しているだけです。事務局では記載の期以外は把握して居ません。きつと開催しているところもたくさんあるのだらうと思います。情報の収集に努めていますし、各期の協力者を探し支援を頂きながら、それぞれの期の動向が今以上に判明するように努力しています。情報がなかなか望みがかないません。情報をお寄せ頂ければより充実した会報になるのですが。それぞれの期の幹事・連絡者の方には最新の情報を総会の案内の返信欄に記載して頂ければありがたいと思います。ご協力よろしくお願い致します。



我らの同期会

第四期生 傘寿を祝う集い

二〇一三年六月十日

この集いも、いよいよ今回で最後ですか？

いいえ!!米寿、白寿がありますよ。毎年とはいかないまでも、夢と希望を持つ有志の集りは永遠に続くことになりそうです。



孝史さん、森初雄さん。記名章と「しおり」を渡し、到着順に会費を頂く。会場正面の「一文字」は、副幹事中村福夫さんの素晴らしい手書きの文字。前回使用後、保管してあったものです。

今回は、台風十二号の接近による交通網の乱れから、二十分程遅れて開会。栗山の稲毛淳さんが車で到着したので、全員で記念撮影。

四時半、副幹事の中村福夫さんの開会のことば。亡くなった四十六人の友に「黙祷」。引き続き代表幹事の請川公一さんが、あいさつ。庶務の手島が経過報告。

大西幹男先生が出席の予定でしたが、所用のため欠席。「米寿」を迎えられたといいますが、色艶もよく声に張りがある元気で元々そうだったことを報告。後藤盟さんが急遽出席。札幌の小森弘之さんが、台風の影響で帰りの列車が心配ということで欠席となる。

恩師・満田律司先生の御挨拶。お寺の檀家総代の三人のうちの一人として奉仕。さらに日中友好協会の会長、年金者組合の役員もしているお元気さにとても八十二歳とは思えない。そして、自分と我々への励ましの気持ちを込めて、サムエル・ウルマンの「青春」より引用された言葉を讀まれた。

青春とは
人生のある期間ではなく
心の持ち方をいう

第七期生 同期会ドキュメント

二〇一一年九月三日

三時過ぎから、続々とホテル板倉に到着...
受付は、会計の岡田明さんと片瀬



青春とは
人生の深い泉の清新さという
ときには

二十歳の青年よりも
六十歳の人に青春がある
年を重ねただけで、人は老いない
理想を失うときは、はじめて老いる

頭を高く上げ
希望の波をとらえる限り
八十歳であらうと
人は 青春にして已む
(一部を抜粋)

とにかく、酒に強く、タフ。明日は二年下の第九回生の同期会(沼田・幌新温泉)に出席する予定と云います。五時丁度、新潟から卒業以来

五十六年ぶりの参加の垣野泰之さんの「乾杯!」の発声で開宴となりました。梅沢順子さんから欠席のお詫びにと、深川名物「ウロコダング」の差し入れを頂く。ごちそうさま!しばらく、歓談が続く。

間を置いて二人にテーブルスピーチをお願いする。

仙台市から参加した佐々木勇三郎さんからは東北大地震で大津波に襲われて、カーテンレールに引っ掛けて辛うじて生き延びたとのお話、更に水に溺れた人より、瓦礫に押し潰されて命を落とした人が多いのではないかと話された。人事ではない実際の体験談にみんな、急遽「見舞金」を差し上げる。

苦小牧市から車で参加された金川美奈子さんは近況報告

二十期同期会

二〇一二年八月四日

深川市・プラザホテル板倉において田中芳雄・長尾教逸・宮崎 敏先生の出席を頂き総勢五十八名で四年に一度(夏季オリンピック開催年)の同期会は始まった。

当日は朝から深川カントリークラブで年に三回実施されている「ふれ愛語り愛同期会コンペ」で楽しく汗をかけた者、市内をレンタカーで巡った者などそれぞれ一日を過ごし、夜は、次会、三次会まで深川を満喫し、青春時代の思い出を語り合いました。四年後の深川で、又冬季オリンピック開催年の東京会での再会を期待し解散しました。



を英語で書いてくれたので英語の授業をお願いした。一同、久しぶりの英語の授業に四苦八苦。

あつという間に時間も進み、予め用意であったCDを鳴らし、しおりにある「西高校歌」「学生の歌」を始め「青い山脈」「高校三年生」を皆で歌いましたがとてもいい雰囲気でした。三年後の開催地、札幌を代表して土井義之さんが、締めくくりに、めでたくお開きになりました。余力のある十五人は二次会に繰り出しました。

深川西高校十四期同期会 卒業五十周年同期会

開催日・二〇二二年（H二十四年）
九月十三日 午後五時半
会長・若林 直



代表幹事・内海和人
会場・定山溪ランドホテル瑞苑
十三日にゴルフ大会を羊が丘カン
トリークラブにて開催。プレー後
も関わらず余力を残した者は勿論の
こと、東京、千葉、埼玉など各地よ
り総勢六十六名の参加者が集った。
東日本大震災でいまだ仮設での生活

を余儀なくされている
彼女が、同期のささや
かな支援への感謝の気
持を伝えるために参加
してくれました。宴は
あつという間に進んで
しまいましたが一層の
絆を深めました。
翌十四日、パークゴ
ルフ大会組は八剣山
パークゴルフ場にて楽
しみ、札幌ミニ観光組
は道庁旧庁舎・北海道
神宮・大倉山ジャンプ
競技場・藻岩山ロープ
ウェイ・ススキノと巡
り歩き、親交を更に深
め再会を約して夢のう
ちに散会となりました。

（内海記）



同期会 開催情報

旧中三回生

さて我が旧中三回生は、昭和十五年四月一日入学時一七名、現在在籍名簿四十五名、四十％の生存率で、毎年の同期会を続けています。
二十四年は十月六日に

二十八回目の会合を持ちました。出席者十六名は元氣旺盛。時間の経過を忘れた歓談の席となりました。
而して八十五歳を超える輩、年齢の流れを意識せざるを得ません。主幹事から如何に有終の美を飾るべきや提言されました。各人同期会への厚く強い郷愁は絶ちがたく、一つに纏りきれませんでした。二次会の席で漸く結論的な方向が決定されました。

【告】

平成二十五年十月五日（土）第二十九回同期会開催地・札幌を以って大団円とすることになりました。六十名の亡き友を偲び、また多数の旧師の恩恵、同窓会の誼を偲ぶ時絶ちがたい心情が錯綜致します。今の気持ちに大事に我が蓋棺の日まで持ち続けてゆきます。
（村中末隆）

第七期生

二〇一四年、札幌での開催を決める！
小川慎一・土井義之・原進・高橋幸治、以上四人

が呼びかけ人となって、同期会を準備しています。尚、七期の代表幹事が交代しました。

代表幹事 岡部誠二
副幹事 中村福夫
庶務 手島 克
会 計 岡田 明

寄稿

29会 深川支部会便りより
第6号 平成25年3月8日発行

春遠からじ 骨折の思い出

第6期生 岡田佐代子

思いがけない
事が突如やって
来た。

「骨折してい
ます。踵の外側
の骨量の80％しか無いんですよ
チョッとした事で骨折するん
です」と、先生の説明を受ける。

去年、8月も終わりに近いとい
うのに、真夏日が続いていた。私
は、バイクで街へ買い物に行き
店を出た時、舗装に左足を引っ掛
けてしまった。腫れはあるものの、
歩く事も出来たし、肉ばなれか、
筋違いかと勝手に思い込んで、湿
布薬でも貰うつもりだった。

左足はギブスで固定され、松葉
杖が手渡された。

「1ヶ月かかります」

その日から、私の生活スタイル
が一変してしまふ。体を動かす事
が好きで、田舎暮らしの習慣で毎
日外に出ない事は無かったのに、
野菜の管理や花の管理も主人に
お任せする事になる。「骨休み」と
は、こう言う事なのだろうかと思
いながら、窓からブルーの空を眺
めたり、庭の花々を眺めたり、何
とも優雅な、ちよつたりほろ苦い
思いでもありました。

9月には一己祭りの余興とし
て、舞踊や大正琴の出演が決まっ
ていました。踊りは動かなければ
いけないけれど、大正琴は座って
弾けるので仲間に楽器を運んでも
らっての演奏でした。今回、私の

ちよつとした怪我で
「骨折したんだってね。どうな
の？」

と言って、訪ねて来てくれる友人
や、お隣りから花が届いたり、子
ども達から食料品が送られて来た
り、人と人との繋がりを深く感じ
る事が出来ました。

体は動かなくても、私の心の中
は：ほんわか：と、温かくなりま
した。1ヶ月後、ギブスが取れた
時、「また、山に行けますよ」と、
先生の一言は、私に元気を与えて
くれました。

2013年、78歳。まだまだ若
い？誰が見てもお年寄り？気持ち
は、「行ったり来たり」ゆれていま
す。

元旦に引いたおみくじ《中吉》
＊身をつつしんで行いを正しく
すれば、必ず幸せを得る時が
来ます。

＊無理に事をなすは悪く、時を
まて 叶う。

慎んで、無理のないように、何
度も頭の中でくり返ししながら、雪
道を散歩している私です。春の
巡ってくるのを楽しみに。

（昭和29年卒 29会 深川支部会便り
6号より転載）

（平成25年3月8日発行）
※29会の支部便りは現在2ヶ月に
1回発行しています。会員13人
に発送しています。

深川西高等学校

「緑の学舎運営委員会」



〈24年度・事業報告〉

昨年報告済み

- ◎ 24.03.07 24年度第1回運営委員会 深川市議会会議室
- ◎ 24.04.08 冬季の植樹状況確認 溝口
エゾウサギの被害が甚大
- ◎ 24.04.13 校庭の処理木下見 岡部、宮本運輸、溝口
- ◎ 24.04.22 校庭の危険木除去作業
岡部、平田、坪田、内村、成田、溝口
宮本運輸4名、重機各種
- ◎ 24.05.09 育林事業現状視察
林業試験場（美唄）・道民の森・戸田墓苑
岡部、平田、篠原、堀川、溝口
- ◎ 24.05.11 校庭未処理樹木処理作業…3箇所
カラスの巣撤去作業…2箇所
宮本運輸寄贈「紅花のモクレン」移植作業。
- ◎ 24.05.13 桜の杜、現地確認。雪があり徒歩にて現地へ
咲き始めていたので、囲いはずし傷跡処理
堀川、溝口

未報告分

- ◎ 24.05.17 釧路八重開花
- ◎ 24.05.23 防除の為薬剤散布 岡部
- ◎ 24.06.10 「音江山麓の山野草を巡る集い」
岡部、堀川、溝口
- ◎ 24.07.11 校庭の枯死オンコ伐採処理
- ◎ 24.07～09 月一で同窓会林と植生観察
- ◎ 24.10.08 第3回、卒業記念植樹（65回生）「ナナカマド」
岡部、竹林、堀川、藤井、中村、溝口
- ◎ 24.10.17 三上石材により石のベンチ設置、銘版改修
- ◎ 24.10.24 秋の越冬作業
岡部、篠原、竹林、坪田、溝口
- ◎ 24.11.21 24年度第2回運営委員会 プラザ富士屋
併せて開催、記録史編集準備会
岡部、平田、堀川、坪田、内村、篠原、藤井、溝口
- ◎ 25.02.27 平成25年度 第1回運営委員会
〈議題〉
(一) 委員改選
運営委員の任命、委嘱書の授与
(二) 今期の事業予定について

【春 期】

- ◎ 学校林現地調査
銘木ポイントの確認とマーキング、散策路下見
看板等設置下見…
- ◎ 校庭のシラカンバ（無花粉）の更新植樹
- ◎ 融雪前の植樹林及び校舎前庭の管理
山、学校の冬囲い取り外し、雪害木の点検・
事後処理
- ◎ 研修会の実施
- ◎ 遊歩道整備 シウリサクラ、広場の桜周辺
- ◎ 野の花の植生を巡る…「花を愛でる会」との共催
- ◎ 末端駐車広場のエゾ山桜周辺整備

【夏 期】

- ◎ 作業道管理…作業道側溝の流土石除去
- ◎ 記念植樹、宮脇桜管理…特に防除強化
- ◎ 同窓会林、修練道場、同窓の泉の管理
- ◎ 看板等・散策路整備・銘木ポイントの整備と
図面整備

【秋 期】

- ◎ 第4回・卒業記念植樹事業の準備
- ◎ 桜の補植
- ◎ 修練道場周辺整備…シウリサクラの植樹
- ◎ 冬囲い
(三) 記録史の発刊について
◎ 発刊に向けて編集作業の推進
- ◎ 25.03 多雪の為校庭の樹木被害を受ける
- ◎ 25.04 山麓の桜がウサギの被害を受けた報告を聞く
- ◎ 25.05 雪融けが遅れる
- ◎ 25.06.09 管理作業 岡部、篠原、堀川、溝口
- ◎ 25.06.27 防除作業 岡部

〈25年度・事業計画〉

【校舎周辺】

- ◎ 母校の植栽木の生育、安全等の確認
- ◎ 10年計画による植栽木、老木を更新する予定。無花粉白樺
植栽5本
- ◎ 宮脇サクラの管理

【記念植樹地】

- ◎ 記念植樹の桜の追加と管理
- ◎ 現地整備 駐車場の確保・植栽周辺の環境整備
- ◎ 植樹後の管理作業

【同窓会林】

- ◎ 希望者対象者の修練道場、湧雲の白樺見学サポート
- ◎ 湧雲の泉の管理…水質検査の実施
- ◎ 間伐地の管理、作業道の管理
- ◎ 学校林作業道の排水管理

【卒業記念植樹】

- ◎ 第4回の卒業記念植樹（66回生）

【研修会等及び啓蒙事業】

- ◎ 林産試験場視察
- ◎ 他団体と協賛事業「山野草を巡る集い」

【記録誌編纂事業「緑魂は時空を超えて」】

- ◎ 開校時から委員会設立までの学校を取巻く緑の環境の経過
を記録
- ◎ 委員会の設立以降の経過・5年間を記録し記念誌として残す。
- ◎ 発行は25年夏以降の予定



役員会風景



雪で折れた校庭の樹木

母校支援事業

会旗・応援旗・健闘幕の
引渡し

会旗にも使え応援旗、闘魂幕にも
使える幕を4枚作成。平成24年8月
7日、役員一同へのお披露目と学校
への贈呈式を兼ねて校長室にてお渡
しました。

各種大会の応援に使ってもらい生
徒の活躍の支えになればとお贈り致
しました。同窓生の皆さんには9月
の同窓の夕べでお披露目を致しまし
た。学校のみなさん、同期会などの
際にも利用して頂ければと思います。
学校の都合もありますので事前に学
校にお問い合わせください。使用し
ている画像は同窓の夕べのスナップ
をご覧ください。



贈呈式にて

幻の新聞第一号

幻の新聞、深川高校新聞第一号を
贈ってくれました。

今まで何度となく探し求めていた記
念すべき第一号が出てきました。嬉し
いことです。

戦後の混乱期から立ち上がる機運と
活力が漂い始め、新しい日本の胎動を
感じ始めた最初の年でした。発行は昭
和二十五年六月二十五日。深川西高校
ではなく深川高校として東西に校舎が
あった時の新聞ですが文句なしの第一
号です。

提供は千葉在住の鈴木康夫氏（高校
三回生）昭和二十五年前期生徒会長
です。本間にうれしくて早速コピーを
取り学校と同窓会で保管しています。
数部はそのままラミネートして掲示に
も耐えられるようにいたしました。

以下、二十周年史（昭和
三十三年九月発行）から転記

《新聞会》

われわれの先輩は卒業して
社会の一線に、あるいは上級
学校へと華々しく活躍してい
る。そして彼等はわが母校に
偉大なる功績を残して果立っ
た。一緒に暮らした時の彼等の
内容はわれわれにも判る。し
かしそれ以前の先輩の運
動は容易とわからない。

だが、【新聞】という永
久的に残る記録に依っ
て、彼等の活動の内容を
知り、伝統を受け継ぎ、
あるいはそれに依ってわ
れわれの進路も示してく
れる。そのように学校
の「歩み」という立派な
歴史を教えてくれる唯一
の物が「新聞」である。
そのような尊い？かつ歴

史のページを綴りあげる仕事にたず
さわっているわれわれ新聞会であれば
ここに開校二十周年を迎えたことは喜
びに堪えない感激です。そこでこれ
機会にわが新聞会の歩みと実状を振り
返ってみることにしよう。

新聞会は二十五年以前に創刊号を出
した（その前から新聞会があったよ
うであるが）のであるからその歴史は
案外古い。そして今迄にプランケット
（普通新聞の一頁大）タブロイド（普
通新聞の半頁大）と大きく違つた
実に三十号の新聞を発行し、その活動
は年々活発になって来ている。西高新
聞の創刊号当時の発行責任者は村竹徹
勇、岩館登両君で以後近藤忠、長嶋征
雄、万年信一、松山理、平間幸一、竹
田正義君等を過つて八代目？に私（大
西）がこの任務を遂行している訳です
が……

（以下省略***）

読んでわかるとおり、この当時でも
資料はないし、はっきりと引継ぎがな
されず創設当時の状況が把握されてい
ないことがよくわかる記録です。

開校百年にはまだ遠いとは言え資料
の散逸を心配しています。
収集できる時に集めたい。特に文芸
クラブ誌「うまごやし」がみあたりま
せん。関係ない人にはゴミでも関係者
には宝です。在校生の資料をお持ちの
方はご協力よろしく願います。



学校祭

この会報でも巻頭言で学
校長の挨拶を頂くところで
すが二号からは
ずーっと学校行
事の挨拶を転載
しています。同
窓生に臨場感溢れる現状を
知っていただく事がこの会
報の役目なのかと思ひ紹介
させて頂いていきます。

今年のテーマは(One's Big
Moment)「我等の魂 今
ここに」

日程

七月六日 開祭式・連合演

劇・吹奏楽・アピール・生

徒会企画

七月七日 連合演劇・生徒会企画・行

燈行進・行燈フィナーレ

七月八日 総後片付け・開祭式

同窓会活動への ご寄附お礼

昨年10月、旭川在住の池田勝美さ
ん（3回生）から同窓会の運営に使
ってくださいと浄財のご寄附がありまし
た。この場をお借りしてお礼申し上げ
ます。

旭川での同期は6名で齢を重ねて80
に手が届くようになってきたけれど
も、2ヶ月ごとに主に寿司屋で集って
酒を酌み交しているそうです。

更に、今年5月には札幌の宮脇 敬
さん（4回生）から多額のご寄附があ
りました。宮脇さんは数回にわたっ
てご援助を頂きました。このお力で学
校の校庭に桜を植える事が出来ました。
同窓生の皆様には同窓会の運営、会
報の発行、名簿の発行、周年記念事業、
在校生への支援と節目節目に本当にお
世話になっていきます事にお礼申し
上げますとともに今後も引き続きご支
援を賜りますようお願いいたします。

校長挨拶

山下 薫

生徒会執行部を中心に、
早い時期から準備を進めて
いただき、今年も無事に学
校祭を迎えることができました。
すことを、心より感謝いた
します。



アピール

学校祭の意義である「連
合制」を効果的に発揮して
先輩・後輩のより良き信頼
関係を築いてください。

良き伝統とは何であろう
か？……決して自己満足で
ない、独りよがりでない、
周囲を爽快にさせる、周囲への感謝を
忘れず、己の満足だけを求めず、常に
周囲を支えることに気を配る、利他的
な心で徹する、これらが貫かれている
ことが、とつても大事なことです。

地域から愛され、決して途切れない、
半世紀を超えて繋がる本校の学校祭。
君たちが新しい一ページを『きり拓
き 創り上げる人』として思う存分、
力を発揮してください。先日のコーラ
ス大会と同様に、若者らしいさわやか
な姿と輝く眼差しに期待します。

さあ！皆で心を一つに創り上げ
よう 第六十四回 学校祭！！

学校祭も時代背景で色々な制約の中
で変遷を見ました。昔の教室での
展示や発表を知る同窓生にとっては写
真、華道、美術のみになりましたし、
バザーも保健所対応の中で昔のような
開催は無理になりました。若さを充分
に発揮できるのは校舎前で繰り広げら
れる組別のアピール合戦でしょう。独
創的なダンスや選曲で別世界のような
空間です。フィナーレの花火大会も生
徒たちの大きな楽しみとなりまし
た。時代が変わっても若さの世代は
かわりませんね。生徒の熱い夏も終わ
りました。こうやって先輩から後輩へ
と流れが繋がっています。

第十六回 同窓の夕べ盛大に開催

第十六回「同窓の夕べ」が平成二十四年九月八日に参加二四四名を得て盛大に開催されました。世話人は末尾「五」の期で構成。三十五期片山さんの進行で開始。開会に先立って例年通り吹奏楽の演奏から始まりました。局員が減って編成がこじんまりとなりましたが例年通り狭いステージを物ともせず、ノリノリで元気にオープニングを飾ってくれました。

菅原実行委員長の挨拶、大西会長より参加者へのお礼、山下校長より簡単に学校の近況を報告して頂きました。引き続き岩田兼一さんの音頭で高らかに乾杯。楽しい宴に入りました。今回もビュッフェ形式のお料理でお腹を満たし美味しいビールでのどを潤しましたが序盤はあつという間に料理消滅。後半で出てきた料理は残っていました。残念。でも参加者一同満足。同窓会お名前ピンゴは二十五期、ジャンケンポンは三十五期、お楽しみ抽選会は四十五期と二十五期で担当して夕べを盛り上げてくださいました。宴も終盤に入り、中井秀夫さん指揮、山岸久仁子さんのピアノ伴奏で参加が少なかった旧中先輩が「雪解の水を湛えたるよ」を熱唱。引き続き全員で声高らかに校歌を歌いました。



山下薫校長



乾杯は岩田兼一さん



大西会長



星野次期実行委員長



菅原実行委員長



会場風景



抽選会



会場風景



進行・片山さん



校歌斉唱



吹奏楽演奏



旧校歌斉唱

実行委員会は十六期、二十三期、三十六期、四十六期、五十六期が担当です。実行委員長は十六期の星野 孟さんです。毎回ジャンケンの勝ち残りの期は同期で二次会に参加します。お名前ピンゴに一喜一憂し、趣向を凝らした抽選会で大勢の同窓生の親睦を深めます。遠方の方でも都合が付きまじたらこの日に日程を合わせて参加して戴けたら嬉しいのです。今年から開催日を変更。九月の第三土曜日に固定しました。多くの同窓生の参加をお待ち致しております。

日時 平成25年9月21日(土)
開演 午後6時
(吹奏楽部の演奏)
開会 午後6時30分
会場 プラザホテル板倉
(深川市3条6番)
会費 2,000円(当日券あります)

第十七回「同窓の夕べ」を次の通り開催致します。

同窓の夕べ 開催のおしらせ

高校体育連盟大会成績

全道大会

【陸上】 函館市

[男子]

100m	3-2	窪田 晟也	予選敗退
200m	3-2	窪田 晟也	予選敗退
800m	3-2	新江 康人	予選敗退
1500m	2-4	佐藤 瑞樹	予選敗退
110mH	3-3	佐藤 寿樹	準決勝敗退
400mH	3-3	佐藤 寿樹	予選敗退
400m R	2-1	平林 優哉	予選敗退
	1-4	谷村 拓海	
	2-1	青木 玲王	
	3-2	窪田 晟也	
三段跳び	2-4	山本 豪太	予選敗退
	2-1	平林 優哉	予選敗退
砲丸投げ	1-4	谷村 拓海	予選敗退
円盤投げ	3-3	竹原 高德	予選敗退
	2-2	中村 啓斗	予選敗退

[女子]

1500m	1-4	北井 里実	予選敗退
3000m	1-4	小山 菜月	予選敗退
やり投げ	3-1	高橋 美優	6位 全国大会出場獲得
	2-2	羽二生 絢	DNS

【バドミントン】 釧路市

[男子]

団体		ベスト8
ダブルス	辻本 哲也・江刺家結哉組	ベスト8
	水上 量順・駒村 侑哉組	2回戦敗退
シングルス	辻本 哲也	3位
	江刺家結哉	1回戦敗退

[女子]

団体	3位
ダブルス	牧野つくし・花田 優依組 3位
	河上 由奈・本田和香奈組 ベスト8
	上川あかね・高澤 麗華組 2回戦敗退
シングルス	関根 千弥 2位 全国大会出場
	河上 由奈 3位
	花田 優依 ベスト8

【バレーボール】 深川市・滝川市

[男子]

予選グループ戦敗退

[女子]

予選グループ戦突破
ブロックトーナメント戦敗退 ベスト16

【弓道】 美唄市

[男子]

個人戦	富澤 烈	準決勝敗退
-----	------	-------

【卓球】 旭川市

[男子]

学校対抗戦	2回戦敗退
ダブルス	平賀・黒田組 3回戦敗退 ベスト16
シングルス	黒田・定岡・平賀 共に 2回戦敗退

[女子]

シングルス	榮	2回戦敗退
-------	---	-------

コーラス大会

五月七日から練習開始、早朝から、さわやかな歌声が校舎に響くようになりました。新学年がスタートして間もないこの時期に、会場の「み・らい」のステージで様々な問題を乗り越え突き破った十日間を燃焼させました。今年も又、感動の内に終了することが出来ました。



会場風景

課外活動

美術部・写真部合同展

2013年3月16～31日

アートホール東州館市民ギャラリー



関根千弥さん

バドミントン

関根千弥さん（2年）

北海道予選シングルス3位

芽室町出身だがバドミントン上位校の西高校を選んで日夜文武両道で励んでいます。

一つでも多く勝ち上がるのを目標にシャトルを追いかけています。

インターハイ出場

やり投げ

高橋美優さん（3年）

北海道予選6位

マネージャーから選手に転向。ただいま記録上伸中。目標は45m突破。



高橋美優さん

第三回驛傳競走に就いて

五年 河合 治明

私は驛傳に少し關係したので先づ戦績から愚感を述べる。九月二十七日、一か月余りの血のにじむ様な練習を積んで、吾々は此の日を迎へると、異常な緊張を覺えたのであった。

メンバーを見ると、スタートから岩本(五年) 中出(五年) 池田(四年) 星野(三年) 片山(三年) 林(四年) 高橋(四年) 堀井(五年) 新名(三年) 阪田(五年) 村中(三年)の順位で旭川―札幌間を一舉にのしてしまふといふ新進メンバーだった、殊に三年の新メンバーを起用し、彼等には大きな期待をかけてゐたのだ。二十六日の夕刻見送りに來た人々の迫るやうな瞳を受けて、元氣一杯スタートの岩本は出發した。

明けて二十七日。朝靄濃い中を參加校十六校で旭川中島公園の上川神社に參拜。開会式が行なわれ、七時、常盤公園より強い決意を秘めて、出發員の合圖と共に一齊に飛び出した。スタートの岩本は朝から少し元氣がなく、足の痛みを氣にしておたが、それでも市中は上位におて、頑張つてゐた。然し台場原の急坂にさしかかる頃すつかり疲れを見せ、ラストの北中とせり合つて居たが、約二百米の差をつけられて、前年の區間賞授賞者中出に引繼した。中出元氣一杯。リレー棒を受け取るや否や自信満々ニコリと笑つてグイグイペダルを踏み進んだ。道の悪いコースを彼得意のフォームを見せ、グイグイ北中を追い詰めたけれど、此れ又抜くはあははず泥にまみれて、深川でホー

プ池田にバトンタッチ。彼小艇と云へども地元の應援を得て良く力走し、妹背牛迄に已に三名を抜き、顔を蒼白にしつつ齒を食いしばつて走り続け、雨龍の引繼迄四名を抜き若冠星野に引繼ぐや否やバツタリ倒れてしまった。星野引繼ぐや此れ又善戦、悠々三名を抜き九位に進んだ。

星野のタイムは區間賞と思はれたが彼、途中瀧中の自轉車と衝突した爲か三十何秒の小差によつて區間賞を惜しくも逸した。九位の儘瀧川に於ける弱冠片山に引き繼いだ。此の引繼ぎ地點がはつきりしなく、橋がこはれてゐたため、川岸より此方へ何校が來たと云うやうに指圖で進む式で、本校は九位に進みしも稍々タイム遅れて出發した爲、片山二名に抜かれて十一位になり、第六區砂川に待ち受けてゐる林に引き繼いだ。此の區間は二里位の距離ではあるが林良く體力と技術に物を言わせ、前に見えぬ敵を追い詰め遂に一名を抜き奈井江に於ける高橋に引き繼いだ。高橋不調の爲、一名に抜かれ再び十一位に下つた。

美眼に十一位の劣勢も一舉に挽回せんとする主將堀井は、前年度の壓倒的な區間賞受賞者の爲か多くの入々の注視の下に高橋より棒を受け取るや否や、物凄いスピードでペダルを踏み続けた。折柄の風は向かい風で全くの惡風であつたが、彼良くペダルを踏み、他の競合を斥けて三名を抜き、突風と雨とに顔から背中から泥にまみれて弱冠新名に「頼むぞ」の掛け聲も勇ましく八位で引き繼いだ。

岩見澤―江別の難中の難コースも何ものかと新名、全道的選手小柳に伍して善戦、後半より彼得意のフォームを作るや途中抜かれた參名の中二名を一舉に抜きかへし、後一名を一

分半の小差に追いつめ、江別に待ち受ける坂田に九位で引き繼ぐ。坂田大いに頑張り、先に出發せし樽商を抜かんとしたが如何にスピードを出せども目前に現はれず、口惜、涙に顔をぬらしながら、アンカー村中に引き繼げば、村中アンカーの偉力を發揮して強引に最初から走り續けた。直前の樽商を抜かんとして力走に力走を續け、札幌市内に入り東橋にかゝる頃愈々其の差を縮められ、どその儘ゴールに入つてしまつた。タイムは八時間三十八分三十七秒。第九位の成績であり八區間の區間賞は再び堀井が受賞した。此れがその日の吾が戦跡であり、十一名の選手はよくベストを尽くし深中の名譽を飽く迄そこなはなかつたのに對しては激賞に價するものである。驛傳のみならず、あらゆるものに今後出場するであらう。その都度必勝の確信を持つて、深中健兒の名譽をあげて貰ひたい。ことさら私の驛傳に對する期待は實に大きい。驛傳は國防上から體力上から發展の一路を辿るであらう。諸君の活躍はひとへに深中の興廢にある事を考へ、毎日の練習

第三回 旭川～札幌間全道中等学校駅伝競走大会

区分	区間	距離	始点	終点	氏名
走 者	第一区	13.04km	旭 川	神居古潭	岩本
自 転 車	第二区	14.20km	神居古潭	深 川	中出
走 者	第三区	17.26km	深 川	雨 龍	池田
自 転 車	第四区	14.50km	雨 龍	瀧 川	星野
走 者	第五区	8.05km	瀧 川	砂 川	片山
自 転 車	第六区	8.04km	砂 川	奈井江	林
走 者	第七区	10.62km	奈井江	美 唄	高橋
自 転 車	第八区	17.70km	美 唄	岩見澤	堀井
走 者	第九区	21.72km	岩見澤	江 別	新名
自 転 車	第十区	12.00km	江 別	厚 別	坂田
走 者	第十一区	14.20km	厚 別	札 幌	村中
合 計		160km			(昭和16年9月27日)

を怠る事なく、指導者の命を聞いて頑張つて貰いたい。來年こそはと吾々は諸君が榮冠を得る迄何時までも期待し續けるであらう。驛傳に少したづさはつた關係から愚感をとりとめもなくここに述べたが、私は來年の諸君の榮冠を夢見ながら筆を擱く。後記 參考迄に一等の札商と本校のタイムとを比較すると札商は八時間二十二分二十九秒、本校は八時間三十八分三十七秒。其の差十六分八秒であつた。

どろやんぎ (編集後記)

▼回を重ねて漸く第五号の発行が出來ました。毎年同じことを書いています。卒業記念植樹は三度目の事業となりましたが、また三年では森には程遠い状態です。やつとカツラが背丈ほどに伸びました。

▼前号でお知らせしたように第五号からは全員に送付は致しません。しかしながら四年に一度はお届けしたいと思ひます。これまでと同じように皆さんにご協力はいただかなければ発行はできませんので、方法は変わりますが引き続きご協力くださいますようお願い致します。

▼偏西風の影響で今年も雪害に悩まされました。農家の春作業も遅れ気味でスタートしました。昨年と同じような成り行きでしたが出来秋は良とでたようです。

▼東北大震災から以降、森の有り方が見直されてきました。緑の防潮堤が景

観の維持と災害から守ってくれていることが理解されてきたからです。植物も動物も同じ地球号に乗つて自然の中の一部として生きています。人も又、自然の一部です。

▼やつと緑の字び舎關係の記事が減つてきました。新規事業が整理されてきたことで紹介する記事が減つたことにありますが、食害には依然悩まされています。思うようにならないのは仕方ありませんが今後も未永くお付き合いください。



ホームページ紹介

同窓会ホームページ

<http://mypage.fukanavi.com/nishikou/>

同窓会紹介サイト

<http://mypage.fukanavi.com/>
から入って、ジャンルの教育・学校・高校

西高校の紹介ネット

<http://yubitoma.sphere.ne.jp/>

西校ホームページ

<http://www.hukagawanishi.hokkaido-c.ed.jp/>